

●戦後から現在活躍中の人物まで●

ジャーナリスト人名事典

戦後～現代編

「ジャーナリスト人名事典」編集委員会 編

A5・440頁 定価(本体13,500円+税) ISBN978-4-8169-2499-6 2014年12月刊行

敗戦、高度成長、ベトナム戦争、東日本大震災報道など様々な現場を取材し記録してきたジャーナリスト1,039人を収録

- 主に活字媒体を発表の場とした人物を収録しました。
- 新聞・雑誌記者、フォトジャーナリスト、ルポライターなどを収録。活躍中の人物にはアンケートを実施し、最新の情報を掲載しています。
- 「人名索引」「事項名索引」付き。

【収録人物例】

青木富貴子／青木やよひ／青地農／秋元秀雄／浅井久仁臣／朝倉喬司／荒畑寒村／有田芳生／飯干晃一／石橋湛山／一ノ瀬泰造／猪瀬直樹／入江徳郎／岩見隆夫／内田忠男／枝廣淳子／恵谷治／扇谷正造／大石芳野／大谷昭宏／大宅壮一／岡崎元彦／荻原博子／落合信彦／金平茂紀／上之郷利昭／草柳大蔵／國枝すみれ／黒田清／神山典士／児玉隆也／近藤紘一／斎藤茂男／佐瀬稔／佐高信／佐藤和孝／佐野眞一／沢田教一／清水美和／正力松太郎／田岡俊次／竹中労／立花隆／千野境子／鳥越俊太郎／萩谷順／長谷川幸洋／日隅一雄／広河隆一／広津和郎／船橋洋一／古居みずえ／古谷綱正／本田靖春／牧太郎／増田れい子／松井やより／松尾邦之助／松岡洋子／松方三郎／溝口敦／三宅久之／村山長拳／室伏哲郎／山本美香／屋山太郎／渡辺恒雄 …ほか

筑紫 哲也

ちくし・てつや

内容見本

ジャーナリスト、ニュースキャスター、TBS 報道キャスター、朝日新聞東京本社編集委員、「朝日ジャーナル」編集長
 [生年月日] 昭和10年(1935年)6月23日
 [没年月日] 平成20年(2008年)11月7日
 [出身地] 大分県日田市 [学歴] 早稲田大学政治経済学部 [昭和34年] 卒 [専攻分野] 政治(内外)、アメリカ、国際関係 [受賞] ギャラクシー賞、テレビ大賞優秀個人賞(第12回, 昭54年度)、ベストドレッサー賞 [平成4年]、ギャラクシー賞(テレビ部門個人賞, 第30回) [平成5年]、橋田賞特別賞(第13回, 平16年度) [平成17年]、日本記者クラブ賞 [平成20年]、放送文化基金賞(第35回) [平成21年] [家族等] 二女=筑紫ゆうな(ペーパーカット・

34年朝日新聞社に入社。宇都宮支局、東京本社政治部などを経て、46年ワシントン特派員となり、ウォーターゲート事件などの取材に携わる。帰国後、「朝日ジャーナル」副編集長、外報部次長を歴任。外報部次長時代の53年、テレビ朝日の報道番組「日曜夕刊!こちらデスク」のキャスターとして活躍。ニュースを読み上げるだけにはとどまらないジャーナリストとしての説得力とサファリルックで幅広い人気を博した。59年「朝日ジャーナル」編集長に就任、「若者たちの神々」「新人類の旗手たち」「元氣印の女たち」といった連載企画で話題を呼び、「新人類」「元氣印」は流行語になった。62年4月朝日新聞編集委員となり、ニューヨークに駐在。平成元年7月朝日新聞社を退社、10月からTBS系列「筑紫哲也NEWS23」のキャスターに就任。フリップにタイトルを示して世相を評論するコラムコーナー「多事争論」などで人気を得、10年のクリントン米国大統領、20年の李明博韓国大統領をはじめ、各国首脳をスタジオに招いて市民と直接対話させる試みを行うなど、民放を代表する報道番組に育てた。この間、8年オウム真理教による坂本弁護士一家殺害事件に絡みTBSスタッフによる教団へ

■既刊

ジャーナリスト人名事典 明治～戦前編

山田 健太 編 A5・440頁 定価(本体13,500円+税)
 ISBN978-4-8169-2498-9 2014.9刊

2016.9

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
 〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名

注文書

ジャーナリスト人名事典 戦後～現代編

定価(本体13,500円+税) ISBN978-4-8169-2499-6

冊



9784816924996